

あいち 国際プラザ



2025.3 No.164

AIA AICHI INTERNATIONAL
ASSOCIATION

公益財団法人 愛知県国際交流協会
ニュースレター



紙の一枚

アジア・アジアパラ競技大会

■写真の内容については2～3ページの特集「アジア最大のスポーツの祭典、アジア・アジアパラ競技大会が愛知・名古屋で開催！」で紹介しています。

Contents

特集

アジア最大のスポーツの祭典、アジア・アジアパラ競技大会が愛知・名古屋で開催！ … P.2 ～ 3

- AIA だより 協会の主催・共催事業などを掲載しています …… P.4 ～ 5
愛知県国際交流協会は設立 40 周年をむかえました
インターンシップ報告（東海学園高等学校）
コーディネーター講座「アン先生の面白い和製英語の世界」
- 愛・地球博20 祭が愛・地球博記念公園で開催されます …… P.6
にじゅっさい
- Focus on ! …… P.7
国際交流ステーション 一般社団法人 MIRAI Project
世界の街かどレポート JICA 海外協力隊 グアテマラ
- CIR ライアンのでくてく日記 …… P.8
- 編集後記・協会案内図 …… P.8

当協会では賛助会員を募集しています。詳細は [愛知県国際交流協会 賛助会員](https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html) で [検索](#)

<https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html>

アジア最大のスポーツの祭典、アジア・アジアパラ競技大会が愛知・名古屋で開催!

アジア大会概要

第20回アジア競技大会 (2026 / 愛知・名古屋)

開催意義 第20回アジア競技大会 (2026/ 愛知・名古屋) は、スポーツ界にとって東京2020オリンピックの次なる大きな目標となり、拡大するアジアとの交流を一層深める機会となるなど、日本全体にとっても大変意義のある大会です。“日本での開催は32年ぶり”

開催概要

- **大会期間** 2026年9月19日(土)～10月4日(日) 16日間
- **実施競技** パリオリンピック実施競技 (32競技) / アジア5地域の競技 (5競技)
組織委員会提案競技 (2競技) / OCA 提案競技 (2競技) 合計: 41競技 (2025年2月時点)
- **参加国数** アジア45の国と地域
- **選手団** 最大15,000人
(選手・役員)
- **メイン会場** 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

エンブレム

スポーツの持つ躍動感、OCAシンボルである太陽と愛知県の花「カキツバタ」の紫、「名古屋城」の「しゃちほこ」の金、環境への想いを表す緑で彩っています。



スローガン

スポーツが持つ人々を結びつける力を活かし、さらには、多様性が進む社会に生きる私たちひとりひとりが、それぞれの「ONE ASIA」を想像することで、絆を深め、未来へ向かって進んでいけるようにとの願いを込めたものです。

IMAGINE ONE ASIA
ここで、ひとつに。

マスコット

第20回アジア競技大会
マスコット「ホノホン」



文化プログラム

★募集案内 Aichi-Nagoya 2026 公認文化プログラム

皆さんが実施するイベントで、一緒に愛知・名古屋2026大会を盛り上げませんか?

Aichi-Nagoya 2026 公認文化プログラムとは、自治体や非営利団体等が国内で実施する歴史、文化、芸術等の魅力を発信するイベントを、大会公認の文化プログラムとして組織委員会が認証する制度です。

認証を受けた事業は、公認文化プログラムの名称やマークの使用が可能となり、大会公式HP等にて、その事業の情報発信をさせていただきます。

対象となるイベント期間 2025年9月19日～2026年12月31日

対象となるイベント内容

- ・文化芸術をテーマとした事業
- ・歴史、自然、産業、スポーツ文化等、幅広い分野をテーマとした事業

また、これらに準じた分野で組織委員会が相当と認める事業

想定されるイベント内容 演奏会、文化体験教室、発表会、展示会 等

対象要件についての詳細は、
【<https://www.aichi-nagoya2026.org/news/detail/581/>】又は
QRコードよりご確認ください。
皆様の申請をお待ちしております。



アジアパラ大会概要

第5回アジアパラ競技大会（2026／愛知・名古屋）

開催意義 第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）の開催は、障がい者への理解促進や障がいのある方の社会参加の促進に大きな役割を果たし、ひいては、多様性を尊重し合う共生社会の実現に貢献する大変意義のある大会です。“日本での開催は初めて”

開催概要

- **大会期間** 2026年10月18日（日）～10月24日（土）7日間
- **実施競技** 18競技（2025年2月時点）
- **参加国数** アジア45の国と地域
- **選手団** 3,600～4,000人
（選手・役員）
- **メイン会場** 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

エンブレム

パラアスリートの方々の燃え盛る熱きところを温かみのある色彩で表現しました。愛知・名古屋から今後のアジアパラ競技大会へ繋がっていく持続性も表しています。



スローガン

競技場に立つパラアスリートたち、ひとりひとりの熱い想いを、私たちは想像できること。また、想像してみようと促すことで、誰もがところをひとつにする大会となるように言葉を開発設計しました。

IMAGINE ONE HEART
こころを、ひとつに。

マスコット

第5回アジアパラ競技大会
マスコット「ウズミン」



ボランティア募集

★募集案内 愛知・名古屋2026 ボランティア募集

熱い想いで一緒に大会を支えていただける方をお待ちしています！

競技会場、宿泊施設等で大会運営の直接的なサポートを行う「大会ボランティア」。主要駅や会場最寄り駅周辺をはじめとした競技会場外で来訪者対応を行う「都市ボランティア」があります。どちらのボランティアも1日から参加可能です。ご興味のある方は是非エントリーを！！

募集期間 2025年4月30日まで

応募方法 専用webサイトから応募
<https://www.volunteer-aichi-nagoya2026.com>

応募要件 満18歳以上（2026年4月1日時点）

お問い合わせ

愛知・名古屋2026大会ボランティアコールセンター

受付時間 / 平日午前9時～午後5時30分

TEL 050-1808-0542 E-mail contact@volunteer-aichi-nagoya2026.com



問い合わせ 大会問い合わせ先

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

TEL 052-951-2026 受付時間：9：00～17：00 ※土日祝日及び年末年始を除く。

E-mail ainagoc@aichi-nagoya2026.org

愛知県国際交流協会は設立 40 周年をむかえました



今年度、当協会は設立 40 年という節目の年をむかえ、これまでの活動と感謝をお伝えするため、記念式典とパネル展を開催しました。

◆記念式典の開催

2024 年 11 月 13 日に愛知芸術文化センターのアールスペース A で設立 40 周年記念式典を開催しました。賛助会員、県内市町国際交流協会、市町村職員、関係者など 138 人の方にご参加いただきました。

式典あいさつでは、神田会長から、これまでの当協会の事業への理解・協力や各地域での国際交流・多文化共生推進のための活動に対する感謝が述べられました。また来賓として大村愛知県知事にお越しいただき、お祝いの言葉と共に今年開業したステーション AI や今後開催されるトリエンナーレ、アジア・アジアパラ競技大会などにおいて国際交流が益々注目され、当協会の役割も重要になると当協会に対する期待のお言葉をいただきました。

また、多年にわたり国際交流の推進に尽力された方々を表彰する国際交流推進功労者表彰式を行い、「尾張旭外国人のための日本語教室会」、「スリーエス (SSS)」、「TIA ボランティアグループ英語ボランティア GLOBE」、「豊川市国際交流協会 日本語教室部会夜クラス」、「日本赤十字豊田看護大学」、「特定非営利活動法人レスキューストックヤード」の 6 団体に表彰盾を贈呈しました。

さらに、長年にわたり当協会を支えてくださった賛助会員の皆様、国際交流協会、協会評議員に感謝状をお渡ししました。



▲式典あいさつの様子



▲国際交流推進功労者表彰受賞者



▲感謝状受賞者

式典では、西川流別格師範 西川カーク氏をゲストに迎え、当協会職員と対談講演をしました。講演のなかで、愛知県の魅力や自身のアイデンティティ、アメリカと日本のビジネス文化の違いなどをお話いただき、後半には日本舞踊をエクササイズにした「ノス」を音楽に合わせてご披露くださり、来場者の皆さんにも体験していただきました。体験した方からは「早い動きではないのに、息が切れた」「少しでも、舞踊を体験出来て良かった」などの感想をいただきました。

◆パネル展の開催

今年度秋からは、設立 40 年を記念し、ワールドコラボフェスタ (オアシス 21)、あいち国際プラザの交流ひろば、愛知県図書館等でパネル展示を行いました。当協会の事業概要や 40 年の歩みを紹介し、県民の方々に広く PR することができました。

国際交流や多文化共生に関心を持っていただく機会となっていれば嬉しいです！

これまで、国際交流・多文化共生を取り巻く環境は様々に変化してきましたが、多くの県民・関係者の皆様に支えられて、当協会は地域の国際交流の中核的な組織として 40 年継続することができました。今後も、外国人と日本人が共に安心して活躍できる地域づくりのため、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。



▲西川カーク氏



▲愛知県図書館での展示

インターンシップ報告

東海学園高等学校 1年生



2024年12月17日・18日の2日間に東海学園高等学校から2名が当協会のインターンシップに参加されました。

私は昨年の夏にカンボジアにボランティアとして行かせてもらい、国際関係に興味を持ちこの機会に参加させてもらいました。この機会を通し県庁の中にある国際課や多文化共生推進室にもうかがい様々な説明を受けました。この場で私は、海外にいる人達への支援しか考えていませんでしたが、日本国内にいる外国人支援もあることを知りました。例えば災害時の日本語が分からない人たちのためのハザードマップや、高齢化に伴い身内が亡くなってしまった後の必要な手続き・届け出のサポートなどを行っていることを知りました。将来の視野がとても広がりとてもいい経験になりました。これらの経験を踏まえて、もしまたカンボジアのような発展途上国に行った際に、どうしたらこの国を発展させられるのか、もし何かトラブルが起きたときにどんなことをされたら安心できるかを考えながらこれから活動していきたいです。また、このようなことを知れ、自分にとってかけがえのないものとなりました。短い間でしたが楽しい時間をありがとうございました。(森本 一藏)

私は中学3年生のころに韓国に行って海外のことに興味を持ちこの機会に参加致しました。職員の人たちが優しく色々なことを教えてくれて良い勉強になりました。愛知県は日本で2番目に外国人が多くてこれから外国の人たちと交流する機会が増えていくと思いました。また愛知県で地震などの災害があったとき避難場所がわからない人や何が必要かわからなくて困っている外国の人たちを助けるために現地に行って声掛けをしたり事前に防災訓練をして対応できるようにしていることに興味を持ちました。お邪魔した国際課では高度外国人材の受け入れの遅さを改善し、外国人材の活躍による地域の発展に向けての取り組みを学びました。多文化共生推進室では外国の人たちが困っていることや不安に感じていることを相談に乗ったり生活で使う日本語を勉強していることがわかりました。今回学んだことをこの先の生活で生かしていきたいです。すぐ勉強になった2日間でした。ありがとうございました。(和島 怜大)



▲様々な外国人支援について説明を受ける森本さんと和島さん(右)

国際交流・多文化共生コーディネーター講座「アン先生の面白い和製英語の世界」▶

日本人が多用するカタカナ和製英語。これらは外国語由来でありながら日本で作られた外国語風の言葉や表現であるため、その国の方には通じないことをご存じですか。外国人住民にとっても、あふれるカタカナ和製英語に困惑している現状をふまえ、今回は北九州市立大学のアン・クレシーニ准教授をお招きし、和製英語から多文化共生に至るまで、独自の視点を交えながら楽しくお話いただきました。



▲講師のアン・クレシーニ氏と著書

ネイティブスピーカーから見ると、和製英語は「変な英語」と感じられることもあり、アン先生も来日当初はそう思っていたとのこと。しかし、和製英語は日本の文化に合わせて独自の変化を遂げた日本語の一部であると、ある時に気づいたそうです。私たちは日々、無意識のうちに言葉や習慣を自然に受け入れています。改めて問かけられると、意外と答えられないこともあるのではないのでしょうか。自分たちの文化に目を向けることが大切だと改めて感じました。

「あなたがいつも正しいわけではない」「正解は一つではない」「違いを認め合うこと」——この3つの認識を持てば、誰もが少し生きやすい社会になるのではないかとアン先生は希望を込めて語っておられました。

和製英語の例：ベビーカー、シャーペン、マイバッグ、アイス、マンション…etc.



いりよう つうやく
あいち医療通訳システム

アイミス

AiMIS

病院で通訳などが利用できます。

Interpretation services are available at participating hospitals

可在医院使用口译服务

Disponibilizamos o serviço de tradução nas entidades hospitalares

Tenemos disponible servicio de interpretación médica

Interpreter ay magagamit sa ospital

対応言語: English・中国語・Português・Español・Filipino

※その他の言語については、下のウェブページで確認してください。

あいち医療通訳システム推進協議会事務局



☎ 052-954-6138 平日/Weekdays 9:00~17:30

<http://www.aichi-iryoku-tsuyaku-system.com>

にじゅっさい

愛・地球博20 祭が愛・地球博記念公園で開催されます



◆愛・地球博 20 祭における国際交流の取組

愛知県では、2005 年に開催された愛知万博から 2025 年で 20 年となることから、2025 年 3 月 25 日（火）から 9 月 25 日（木）までの 185 日間、会場地であった愛・地球博記念公園（長久手市）において、愛知万博 20 周年記念事業「愛・地球博 20 祭」を開催します！

愛知万博では、一市町村一国フレンドシップ事業等の取組により、諸外国との交流促進が図られ、国際交流の理念が根付きました。愛・地球博 20 祭においても、「地球大交流・未来共想プロジェクトチーム」（※構成団体：愛知万博 20 周年記念事業実行委員会、愛知県国際交流協会、野外民族博物館リトルワールドほか）を中心に、会期を通じて国際交流や多文化共生、環境共生等のテーマでフォーラムやイベントを行っていきます！

世界・地域から人々が集い、愛・地球博を振り返りながら、現代社会が直面する地球的課題をともに考え、語り合う、そんな半年間。詳細は公式ウェブサイトで順次発表していきますので、是非チェックしてみてください！



時 期	各フォーラム、イベント（予定）
通 期	①生物文化多様性ネイティブアート・フラッグのワークショップ ②エッセイ募集「愛・地球博とわたし」
2025 年 3 ～ 4 月	①愛・地球博 20 祭 前夜祭 第 1 部：世界の音楽で祝 20 祭 第 2 部：未来共想フォーラムⅠ「愛・地球博とわたし」 第 3 部：特別企画「小さな国からの声」(3/23(日)) ②「愛・地球博 20 祭 オープニング音楽祭」(3/25(火)～28(金))
2025 年 5 月	①フォーラムⅡ「まつりの力と絆」(5/18(日)) ②フォーラムⅢ「地域づくりとレジリエンス（危機を生きぬく知）」(5/18(日))
2025 年 6 月	①国連こども環境ポスター展＆ワークショップ (6/14(土)、15(日)) ②カナダ先住民族クリーの長老の語りと「虹の戦士」講演 (6/20(金))
2025 年 7 月 (地球大交流フェスタ)	①地球大交流フェスタ ～「世界の音楽と食の広場 World Music & Food Plaza」及び「世界の街角 The World Street」～ (7/5(土)、6(日)) ②「地球大交流 グレートジャーニー」対談 山極壽一&関野吉晴 (7/6(日)) ③フォーラムⅣ「地球的課題とレジリエンス」(7/6(日))
2025 年 9 月	フォーラムⅤ「アート&ミュージアム 万博と地球的課題」(9/14(日))

エッセイ～愛・地球博とわたし～ の作品募集について

◆概要

「愛・地球博」を体験した世代が何を感じ、今につなげているか。開催後に生まれた若い世代が、「愛・地球博 20 祭」を通じて何を感じ、未来につなげるのか。そんな皆さんの思いをエッセイ作品として募集します！

部 門	内 容	募集期間
A 部門「愛・地球博」体験エッセイ	2005 年の「愛・地球博」の体験をもとにしたエッセイ	2025 年 5 月 31 日（土）まで
B 部門「愛・地球博 20 祭」体験エッセイ	2025 年の「愛・地球博 20 祭」の体験をもとにしたエッセイ	2025 年 7 月 31 日（木）まで

◆参加方法

- ・「愛・地球博 20 祭」愛知県公式ホームページの応募フォームより投稿
- ・上記の部門から選択し、タイトルは自由で 500 字 から 1000 字まで



問い合わせ先

愛知万博 20 周年記念事業実行委員会事務局

(愛知県政策企画局企画調整部企画課愛知万博 20 周年記念事業推進室)

電 話：052-954-6027 E-mail：banpaku20th@pref.aichi.lg.jp

Focus on!

国際交流ステーション

市町村や市町国際交流協会、NGO/NPOなどの活動紹介や最新ニュースをお届けするコーナーです。

一般社団法人 MIRAI Project (日本語学習支援基金 日本語教室学習支援事業認定団体)

MIRAI プロジェクトは半田市の小・中学校に在籍している「外国にルーツのある子どもたち」を中心に、学習支援教室、家庭支援を無償で提供しています。

近年、様々な事情で不登校になってしまう児童が増えています。日本人も含め、学校に行っていない子ども、学校へ行っているけど日本語で困っている子どもたちが、学校生活や社会生活から取り残されることのないようサポートをすることを目的として設立されました。未来ある子どもたちを誰一人取り残さないため、子どもたちにとって「聞いてくれる・応援してくれる・安心できる」居場所を提供しています。

学習支援は、教室での勉強についていけるよう基礎学力をつけることを目標にしており、その他にも、行政や他団体との協力体制を基に、家庭が抱える問題や疑問などを解決・解消する家庭支援も行っております。

利用者の中には困窮している家庭もあり、学習支援教室・家庭支援は無償で行っております。日本語学習支援基金の助成金や支援企業・個人支援者の協力を得て、教室を確保したり、補助教材や文具を購入しています。家庭環境が複雑だと、長期休みでもどこにも出かけられない子もいるので、皆さまの支援を基に社会学習として遠足や体験できる場も設けています。



▲学習支援の様子



▲ハロウィンパーティーの様子

国籍関係なく、子どもたちが将来活躍できる社会を目指して、MIRAI Project は子ども、家庭を支援していきます。

一般社団法人 MIRAI Project

住所：半田市桐ヶ丘4丁目202番地の7

Mail: m.projecthanda@gmail.com

URL: <http://facebook.com/miraiforkids>

Focus on!

世界の街かどレポート

世界各地で活躍する方々に現地の活動や交流の様子をレポートしていただくコーナーです。

グアテマラ (JICA 海外協力隊 河合 美波)

¡Hola! (オラ!) みなさん、こんにちは。

グアテマラは中央アメリカの国の一つで、メキシコの南に位置しています。気候は標高によって異なりますが、高原地帯では 20℃ 前後と年間を通して過ごしやすく、「常春の地」と呼ばれています。私はここで JICA 海外協力隊の野菜栽培隊員として農家さんの栽培技術や生活の向上に向け日々活動しています。

グアテマラの公用語はスペイン語ですが、国民の 4 割がマヤ系の先住民族であり 24 の部族がそれぞれの言語を話しています。そのため地方で生活しているとマヤ系の言語を頻繁に耳にします。また、多くの先住民族の女性は色鮮やかな民族衣装を日常的に纏っており、その織模様は地域や村ごとに特徴があります。さらに、その時々で民族衣装に流行りの色や刺繍などがあるようです。各地を巡る際、それらの異なる民族衣装やマヤ言語を見聞きするのも楽しみの一つです。

グアテマラの人たちは穏やかで優しく、フレンドリーな人が多い印象です。そして、パーティーやお祭り好きな人も多く、何事も盛大にお祝いします。こちらでは誕生日や結婚式、クリスマスなどのお祝い事に爆竹や花火が欠かせません。例えば、誕生日には朝の 6 時頃から大量の爆竹を鳴らし、さらに誕生日専用の曲を大音量で流します。それらの音は近所中に響き渡るので日本だったら騒音問題に繋がりますが、グアテマラの人たちは「にぎやかだね」などと言いながら全く気にしません。こちらに来たばかりの頃は昼夜を問わず突然鳴り響く爆竹や花火の音に驚いていましたが、今ではその音もすっかり日常の一部となりました。

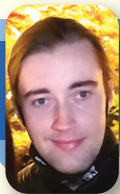
他にも、パーティーでは国民楽器であるマリンバの演奏に合わせて踊ったり、ピニャータと呼ばれるお菓子を詰めた紙製のくす玉を棒で叩いて割るゲームなどをして盛り上がります。イベント毎にたくさんの親戚や友人が集まり、子どもから大人までそれぞれが全力で楽しみ、お祝いする姿がとても魅力的です。



▲民族衣装のお店



▲誕生日パーティーの様子



CIR ライアの てくてく日記

※ CIR とは、「国際交流員」(Coordinator for International Relations) の略称です。

今日、3月17日(この機関誌の発行日)はセント・パトリックスデーです。これはアイルランドで最も重要なお祭りです。アイルランドでは、3月17日に人々が緑の服を着て町の中心に集まり、音楽、マーチングバンドなどとともにパレードをして祝います。セント・パトリックは、5世紀にアイルランドにキリスト教を伝えた人物です。植物のシャムロック(クローバ類)を使ってキリスト教を地元の人々に説明したと言われています(想像してみると、シャムロックは十字架の形に似ています)。シャムロックはアイルランドの重要な象徴となり、その鮮緑色はアイルランドの国民色となりました。

現代ではセント・パトリックスデーに宗教的な意味はなく、むしろアイルランドの音楽、文化、伝統を祝う日となりました。歴史的には、多くのアイルランド人が他の国に移住したため、セント・パトリックスデーは世界中に広がりました。最初はアイルランドの移民コミュニティによって祝われていましたが、次第に地元のコミュニティを巻き込むようになり、だれもが楽しむ祝典となっていきました。

日本では1992年から東京、横浜などで祝われており、名古屋でも2005年の愛知万博をきっかけに行われるようになりました。今年でちょうど20年目になります。

今年の名古屋セント・パトリックスデー・パレードは、3月22日(土)に中区の大須商店街で行われます。地元のミュージシャンによるアイリッシュ音楽が演奏され、商店街の中をパレードします。これは無料のイベントです。ステッカーやポストカード、パンフレットなども用意されます。今年は20周年なのでパレードの前にセレモニー&ミニライブも行います。詳細はQRコードからご覧ください。

どなたでも参加歓迎です。ただし、何か緑色のものを忘れずに身に付けてきてくださいね!



～ワンポイント英会話～

■ Spread (広がる)

〈例〉 St. Patrick's Day spread around the world.

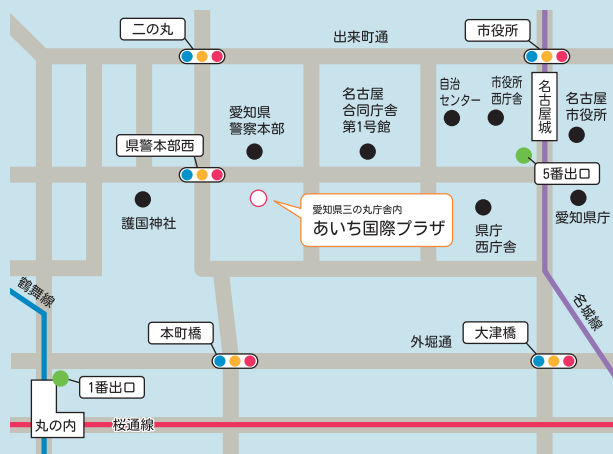
セント・パトリックスデーは世界中に広がりました。

■ Welcome to~ (～を歓迎する)

〈例〉 Everyone is welcome to join.

どなたでも参加歓迎です。

■ 協会案内図及び交通案内



地下鉄名城線「名古屋城」駅5番出口より徒歩5分
地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅1番出口より徒歩10分

■ 編集後記

2025年は20年ぶりに万博が大阪で開催されますが、来年はここ愛知で、アジア・アジアパシフィック競技大会が開催されますね。円安等の事情もあつて、すでに多くの方が海外からお越しになってますが、来年の秋はもっと多くの方が愛知にもお越しになることでしょう。身近にあるおいしいお店など気軽に紹介できる機会があれば、と期待しています。(上原)

■ 開館時間案内

開館時間 月曜日から土曜日 10:00～18:00
(金曜日は10:00～20:30)
休館日 日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

■ 編集・発行

令和7年3月17日発行
公益財団法人愛知県国際交流協会

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1(愛知県三の丸庁舎内)
TEL: 052-961-7903 / 052-961-8744
FAX: 052-961-8045
URL: <https://www2.aia.pref.aichi.jp/>

*本誌を作成するにあたり、企業・個人の方に取材を通じてご協力いただいておりますが、登場する企業・個人の営業活動の促進を目的とするものではありません。